

伸・魅力通信

「やってみる・考える・試してみる心育て」の若草こども園

6月30日に、若草こども園で「やってみる・考える・試してみる心育て」を研修主題に公開保育が実施されました。

子供たちは友達と一緒に、砂遊びや泥遊び、ままごと遊び、アイス屋さんごっこ、新聞紙遊び、シャボン玉遊び、ペットボトルを使った水遊びなどに、夢中で取り組んでいました。

＜参観者の感想＞

先生たちの子供との自然の関りの中で、子供の言動を認めていることで自己有用感が育っていると感じました。教師の投げ掛けは、子供への指示ではなく、経験からの実感を伴って気付きをさせていることは、小中にもつながるものでした。



お家へのお手紙は自分で準備



お友達の帰りの支度をお手伝い。

協力して、工夫してお片付け



先生にアイスのプレゼント。

<参観者の感想>

公開保育では、先生の「つなげる」指導が光っていました。例えば、「先生のために、OOさんと一緒にアイスクリームを作ってくれる?」と声を掛けて子供と子供をつないで一緒に遊ぶように促していました。帰り際に「新聞紙遊び楽しかったね」という子供の発言を、「今言ったことをみんなに伝えてくれる?」と促し、「明日は、もっともっとたくさんの新聞で遊ぼうか? 先生準備しておくね。」と、子どもの発言を明日の遊びへとつなげていました。

子供とあそびをつなぎ、ボイスシャワーで子供たちのやる気と好奇心を引き出している様子に、主体的な学びの「根っこづくり」をしていると感じました。



新聞温泉「新聞プール」新聞引つ張りっこなど、子供たちは新聞を使った遊びをみんなで考えて遊んでいます。



どこまでつめるか試しています。